



Mojo West Chronicle

～京都ミュージックシーンの系譜～

<http://www.m21.or.jp/clubfame/mojoproject/>

phase 29

KYOTO MOJO ①

同じバンドのコピーバンド対決 「？」と意外の連続が襲ってくる

奇しくも、当コーナーと同じ名前である。その由来を聞くのも楽しみだった。撮影当日、同店に向かう。広さはさて、どうだろう。スタンディングで少し詰りめになれば、200人ほどのキャパだろう。まず気付くのが「スタッフの数が多いな」ということだ。生憎ブッキングマネージャーの中西大治郎氏が不在ということもあり、目に付いたスタッフの方に来訪の意を告げた。すると実に朗らかで、ハキハキとした対応が気持ち良いのである。いわゆるアンダーグラウンドな、暗い雰囲気がない。

ほぼ毎日ライブが行われていると言いつ、その日のイベントを聞いてみた。「FASIAN KUNG-FU GENERATION」の「コピーバンドを集めたイベント」です。お客さんにとっちがより似てるか決めてもらいます。我が耳を疑った。同じバンドのコピーバンドを集める？普通ライブを避けるようなライブを、ワザと行っているということか。珍しいですよわね？「そうですね(笑)。特に「GOGOI 71881」の時はものすごい盛況でしたわ。ただ明らかに答えが返ってきた。これは「ワザ」といふ言い方は失礼と解った。「企画」なのである。思い切った良い企画だ。

後日、代表者の大仁田清志氏と、前述の中西氏に揃ってお時間を頂戴した。お二方にお会いして、何となくスタッフの笑顔の理由が解った気がした。大仁田氏は画に描いたような仏顔。中西氏の笑顔も屈託がない。

バンドを選ぶ基準は「希望があれば、それはどなたでも」。件のコピーバンド対決にしても、そのひとつなのだろう。ニーズがあれば受けてあげたくて、さらに同店ナリの企画を乗せている。「ウチに入って3年目の若い子がいてね。今までのライブハウスの枠に囚われないことを」という気持ちがあつて、可能性のあることなら、色々やってみよう。その中にある企画があるんですね。バンドを始めて間がない人でも、将来大きくなる可能性はありますから。その人のためには、オリジナルじゃなきゃダメとかじゃなくて、最初はコピーバンドのイベントでも、オリジナルが一曲・二曲できれば、将来的にはオリジナル曲バンドのイベントにまでもらえたらいいかなと。

とは言え、リスクもあるだろう。外様は余計な心配を重ねるが、実現している上に、盛況というのだから、やはりリベラルな良い企画だと言えるだろう。

スタッフの多さと、これもまた、 首を傾げるほどの朗らかさはいかに？

次はスタッフの数について聞いてみる。「多い、かもしれませぬねえ。例えて言うなら、志を同じくする劇団員に近い明るさ、朗らかさがあるという感想をぶつけてみた。「それはありがとうございます(笑)。とにかく若いエネルギーを大事にしたいんです。あまり『アレしろ』『コレしろ』というのは無いんですよ。『ホールの仕事』『PAの仕事』というのはありますが、それぞれの中で『お客さんにドリンクを待たせない』ためにどうするかとか、新しい事をやるにしろ『起りうる可能性を考えない』と。そう言っているだけで。今、人材育成で最も難しいのがこの『自発的に』という指導だ。これが難しいのは、上

に立つ者が尻拭いしないか、安心感を与えないからである。だから失敗だけを恐れる。だから指示を待つ。ビジネスである以上、経営者に試されるのがその怖さだ。新しい企画が自発的にできた。ではそのリスクを飲み込んで、「やりなさい」と言えるかどうか。「いやあ、その怖さはありますよ、多々(笑)。でも本人が一所懸命考えた企画なんで、その一日だけを考えればね、当たり外れはありますけどね。やっぱりそれを頭ごなしに放ってしまえば欲がなくなってしまうので、赤字になったとしてもできるだけ、ね。結局言い出しにくくない場合もありますし(笑)。とにかく、何に付けてもエネルギーを大事にしたいんですよ。そういう素性を持つ店には、そういうスタッフが集まってくるということだ。彼らには、職場を遊ぶ権利がある。「自主性」というのは特性としてあるでしょうね。やり出すと泊まってもやりますから」。

いよいよオープンも90年代後半へ ただし、店の若さと歴史の若さは別

ブッキングマネージャーは数名いるが、中西氏がリーダー格となる。スタッフを束ねる役割も負う。「時には「大仁田さんは良いって言ったかもしれんけどさあ」という場合もありますが(笑)。とにかくやると決めたらウジウジ考えず突っ走るだけです。もともとライブハウスとしても周りに老舗さんがあるし、昔よりバンドさんは出るところをたくさん選べる環境になつてるわけですから、オープン当初なんて、今の1/3くらいしかライブが入ってなかつたですからね。色んな企画とか、新しい試みとかを提案することで、ツアーバンドにしても電話を下さるようになったんでしょ。当初は赤字がどうかよりも、毎日が赤字だったんで(笑)、あんまり数字のことよりもどうすればバンドさんの為に、ということを考えてましたね。

オープンは99年の9月。ライブハウス、もしくはバンドというものが下降傾向に入った頃だというのは、同コーナーで何度も述べてきた。生き残りをかけていた店もあつたらう。オープン当時、大仁田氏は46歳、自身バンドマンでもある。「中学の頃からバンドみたいなことをやってまして、最初はギターも弾いてたんです。もちろんそれだけで「立派な不良」という世代、「でも僕以上に上手いやつがでてきて、それとね、当時は『身体が大きいやつはドラム』っていう感じだったんですよ(笑)。ベースもさほど重用されず、フロントマン優先の典型的な創生期のバンド文化だった。世代的には学生運動が盛んな世代に、多感な時期を過ごした方である。「西部講堂」「拾得」「探偵」...、当コーナーの初期にご紹介した場所が、今も伝説として語られる時代。「まあ神戸にいたせいもあるでしょうが、(その時代の)まったく中を通ってはいきまじたくてさほどでもないですね。それよりも食うのに必死でしたよ。キャバレーで演奏する仕事をクビにならんようにね。ブルースやファンクを好み、ドラマーとして活動していた。

だが、それだけでは食えないので他の仕事も並行しており、失礼を承知で言えは、いわゆる「掛け持ちミュージシャン」のハシリである。オープン頃も同様で、その掛け持った仕事も不況のあおりで潰れてしまい、知人との縁があり、その知人をオーナーに据えて開店したという経緯である。立場を考えると、年齢を考えると「ええ、バクチです(笑)。開業にあたっては、自らも額に汗して働いたが、出演する側としてはベテランでも、出演させる店を造ることに

いては棄人だ。それでも、気持ちも身体も疲れたと思ったことはなかったという。今でも「新参者の誇り」を忘れないという。それを貫く姿勢もまた、良い企画に結びついているのかもしれない。

初めて目にする「神戸」の往時は 逆に京都を透かして見せてくれる

「だいたい、今のスタイルのライヴハウスが出たのが僕らの若い頃だった。オーディションをもらって、曜日によって出演バンドが決まっているという。その頃のライヴハウスというのはアクの強いのが多かったですからね。」と、おっしゃるのだが大仁田氏の生まれは神戸。京都で言えば「ダウン・ビート」や「田園」が比較対象になるのだが、「30歳くらいまでの京都のシーンというのはあんまり知らないんです。大阪には行りましたが、神戸にはあまりライヴハウスらしい店は少なかった。ジャズのバーとかは多くありましたけど。出るのはキャバレーとか、そういう場所でしたね。歌謡曲もやるし、スタンダードもやるし、いわゆるショウタイムですね。当時はフルバンドがいっぱいありましたからね。フルバンドとは、ご存じの読者がおられるかどうか解らないが、「八時だヨー全員集合」のステージにいた「タン池田とニューブリード」など、いわゆるビッグバンドである。神戸にはそういったバンドを擁するキャバレーが多かったという。その頃、大阪では憂歌団、京都では村八分の台頭とほぼ同時のブルース全盛時代だが、チキンジョージもまだなかった頃の神戸では、話に聞く京都の熱さはなかったという。当時の京都をご存じなく、また他の都市との比較は少なくとも当コーナーでは新鮮である。逆に京都が浮き彫りになる。「すこかったですよ。京都は、それこそ西部講堂の『MOJO』というイベントですとか。その『MOJO』が当コーナー名のひとつの由来でもあり、二年以上前、当コーナーを始めるに当たり、後見人となっていた木村英輝

RAJU

ラジュ



本気のスパイスで体験する
お手軽インド旅行

異国情緒あふれる店内で、インド音楽を聴きながら現地のシェフが作るもちもちのナンと本場スパイスを使用したカレーを味わう。セット内容充実には驚くばかり、その上価格もお手頃。気軽にインド旅行気分が楽しめる!?



■滋賀県大津市馬場1-4-30
スペースVANVA101
☎077-527-5501
草津店☎077-566-0395
堅田店☎077-574-2500
●11:00~15:00
17:00~23:00 (L.O.22:30)
不定休
【平均予算】
昼1000円 夜2500円

滋賀のINGを
CHECK IT OUT!!

ロコミ
情報
カタログ

滋賀エリア版

Restaurante Bar Leon d'Or
レストランバー レオン ドール



栗東界隈の食文化の向上に
ひたすら美味しく貢献します

スペイン・伊・仏各国の料理を各々のスタンダードな技法で供す店。界隈のマダムを虜にしている肉料理から魚料理に至るまで、様々な味わいが楽しめる。もはや栗東地域の食文化には欠かせない存在になってきている。

■滋賀県栗東市
下鈞1147-6
☎077-551-1558
●11:30~14:00
17:30~L.O.24:00
日11:30~L.O.23:00
水休(祝日の場合翌日休)
【平均予算】
昼1300円 夜3500円



to be continued...



KYOTO MOJO

京都市下京区四条通新町東入月鉦町39-1
四条烏丸大西ビルB1F
075-254-7707
営業時間はライヴにより不定。要問い合わせ
<http://www.kyoto-mojo.com>

- '05 10.8 パキスタン北東部を震源地とする大地震が発生。約400万人が被災、「死者が3万5000~4万人に達する」との報道も。1日にはインドネシアのバリ島で同時爆弾テロ。
- '05 10.19 スティービー・ワンダーが10年ぶりにオリジナル・アルバム「タイム・トゥー・ラブ」をリリース。プリンスとの共演曲や、まな娘との初デュエット、米南部を襲った大型ハリケーン「カトリーナ」被災者への鎮魂歌なども収録。